

2009年度 事業報告

概 況

現場基点をよりどころに技術革新と社会変革を俯瞰しつつ新たな変革の原動力を生み出すため、自由な論議の中で切磋琢磨できる場を広く提供していくことを基本方針として取り組んだ。定期的な活動である学術総会、春季討論集会の開催した他、学会誌『技術革新と社会変革』を発行した。研究会活動も始まった。

I. 特定非営利活動に係る事業報告

1. 学術総会

第3回学術総会を以下のように開催した。

- 1) 開催日時：2009年9月30日(金) 10:00～16:30
- 2) 会場：東京都千代田区 学術総合センター
- 3) 参加者：51名
- 4) 内容：

①奨励賞伝達式：4件（5名）

以下の方々が受賞した。

別所信次氏

椿善太郎氏

臼井好文氏

竹内誠氏

都甲由紀子氏

②学術発表：5件

「製造現場レベルアップのための作業マニュアルビデオ化の活用」

「社会ニーズから生まれる噴霧乾燥製品の変遷と技術革新」

「革新的技術の事業化プロセスに関する考察

—技術革新に挑戦する企業への支援を目指して—」

「工場廃棄物の再資源化について」

「内部統制システムの構築とその効果（J-SOX 対応への取組み）」

③特別講演：1件

「20世紀における石油観の変遷」

④意見交換会（有志）

2. 春季討論集会

春季討論集会(2010)を2010年3月3日（13:30～16:40）、東京都千代田区学術総合センターにて化学生物総合管理学会と共同で開催した。

参加者：26名

テーマA：交代勤務制を労働科学的に考える ～24時間社会 Yes! or No! ?～

テーマB：化学物質総合管理の活動評価 ～何が課題で、どう活かすか～

テーマC：化審法の改正をどう評価し、どう考えるか

各テーマともに最初に全体会で座長から問題提起を行った後に、分科会に分かれて討論を行った。

討論会の参加者

テーマA	14名
テーマB	4名
テーマC	6名

3. 講演会の開催

第3回学術総会（2009年9月30日）に合わせて特別講演会を実施した。

講師：須藤繁氏（国際開発センター エネルギー・環境室）

講演題目：「20世紀における石油観の変遷」

4. 学会誌『技術革新と社会変革』の発行

第2巻第1号を2009年8月に発行し、学会ホームページで公開した。

以下の5件が掲載され、総ページは59ページであった。

報文：4件

- ・メッキ液濾過におけるトラブル防止のための方策と基準
- ・熱媒加熱システムの変遷と今後の方向性
- ・小規模木質バイオマス発電の実現による地球温暖化防止と持続的森林保全への試み
- ・知の市場の展開—ボランティアを基礎とする新たな教育活動の試み—

短報：1件

- ・家庭科教育と技術革新—ブータンのGNH (Gross National Happiness) に学ぶこと—

ISSN ナンバーの取得が完了した。(ISSN 1883-9762)

5. 研究会活動

(1) 2009年8月に事故事例研究会が発足した。今年度は3回開催した。

- ・2009.10.8 「
」
- ・2009.12.10 「水素化反応での異常反応」(16名)
- ・2010.3.30 「駿河湾地震の経験に学ぶ」(11名)

(2) 日本近代化学工業技術研究会を企画中である。

6. 知見の集大成、体系化に関する事業

特記すべき活動はなかった。

7. 教育・啓蒙に関する事業

「知の市場」の講座のうち、以下の講座について連携機関になった。

科目名：「リスクコミュニケーション特論」

また、ホームページ掲載、ニュースレター発信により、講座紹介を行った。

8. 講習およびセミナーの開催

特記すべき活動はなかった。

9. その他

ホームページ投稿欄「ちょっと一言」には1件の投稿があり掲載した。

II. 管理・運営に関する報告

1. 会員状況

2009年度の会員数の増減は下表のとおり

	2009年 4月1日	入会	退会	2010年 3月31日	実質増減
正会員	30	2	4	28	△2
学生会員	1	0	0	1	±0
賛助会員	2	0	0	2	±0

賛助会員名簿 2010年3月31日現在（入会順、敬称略）

日本化学工業株式会社

JSR 株式会社

2. 通常総会

第4回通常総会を以下のように開催した。

開催日時：2009年6月4日(木) 18:30～19:30

会場：お茶の水女子大学ライフワールド・ウオッチセンター

会員数31名 実出席11名、委任状提出3名、書面表決6名

主要議案：

(1) 審議事項

第1号議案 2008年度事業報告および決算報告承認の件

第2号議案 2009年度事業計画(案)および予算(案)承認の件

第3号議案 定款の一部変更の件

第4号議案 理事、監事任期満了につき理事、監事選任の件

いずれも満場一致で承認された。

(2) 報告事項

社会技術革新学会奨励賞（2009年）対象者選考経過報告

3. 理事会

1) 第8回理事会 2009年5月21日（木） 18：00～19：00

主要議案・2008年度決算報告

- ・通常総会議案
- ・役員・委員調整
- ・研究会発足承認の件
- ・編集委員会の報告（報文査読状況など）
- ・奨励賞（2009年）候補者

2) 第9回理事会 2009年6月4日（木） 19：00～20：00

主要議案・理事長互選

※第4回通常総会において、理事（12名）・監事（2名）が選任されたので、新しい理事構成で開催された。

3) 第10回理事会 2010年3月11日（木） 16：30～17：30

主要議案・2009年度活動報告及び決算見直し

- ・2010年度予算、事業計画

4. 企画運営委員会

役員(理事、監事)が企画運営委員会の委員を兼務して、学会の運営に関して具体的な施策を企画、立案するとともに業務の推進、調整を行った。

5. 編集委員会

- ・査読委員会を設けて、学会誌『技術革新と社会変革』第2巻1号の発行を行い、8月31日にホームページに掲載した。
- ・奨励賞受賞者（5名）を推薦した。
- ・第3巻第1号の投稿を受け付けて、査読を開始した。（2010年8月発行予定）

6. 広報活動

(1) ホームページ

適宜修正を行った。

(2) ニュースレター配信

No.26 から No.42 まで 16 回配信し、会員宛の連絡ツールとして活用した。（昨年度は 13 回）

7. 運営資金状況

年会費については、会員にニュースレターで納入依頼を行ったほか、未納者には各人宛に納入状況を連絡しつつ督促するなど完全納入を要請した。一方で、有効な企画については内容を充実させる考え方で支出管理を行った。

その結果、2009年度においては収入649,323円、支出406,164円で、当期としては243,159円の余剰となった。(決算の詳細は別紙)

以 上